

平野 浩太郎

神戸芸術工科大学・芸術工学研究所 教授・所長

豊かな長寿社会の実現に向けた大型コンテンツの開発

最近、街角で大型 LED 表示機が普及しかけているが、設置費や設置場所のコストも高く、しかも固定ディスプレイが主で、容易に移動することができない。また、LED が切れたときなどの保守作業も大変である。低コストで高精細な可動式ディスプレイができれば、公共の場での映像配信が安易になり、新しいコミュニティの輪を広げたり、また、イベントを簡単に企画できるようになる。ここでは我々が開発した 100 インチを超える大型ディスプレイを用いて、臨場感あふれる大型ディスプレイシステムを開発して、高齢者が集う野外会場でも見られる移動式の放映システムを開発した。

また、そのための各種コンテンツを開発し、長寿社会に新しいコミュニティの場を提供して、高齢者の生きがいにつながる映像コンテンツを制作した。まず、近接プロジェクタ、透過型スクリーンを用いたシステムを構成して、上記の大型ディスプレイと高音質の映像システムを試作し、野外における発色、輝度を調節した。そして、それに適した大型コンテンツを制作した。既製の DVD を用いたこれまでの実演では大型ディスプレイによる効果を十分発揮できるとは言えず、一般的な放映手法とは異なった大型ディスプレイを用いることによる効果を考慮した映像コンテンツが必要となる。そのため画家が制作した静止画像を用いて、それを音楽と動画を組み合わせた形で DVD にするという新しい手法を用いて制作した。作品名は「心のオアシス」とし、いくつかのシーンに分かれている。